

第 4 回北関東エリア検討会

2023 年 3 月 11 日、日本看護科学学会若手の会主催「第 4 回北関東エリア検討会」がオンラインにて開催されました。今回の検討会では、研究者の活動推進の一例として北関東エリアコーディネーター同士で試みた共同研究の内容を紹介し、共同研究に至るまでのよもやま話・ディスカッションを行い、今後の研究活動に活かすための機会になることを目的として開催しました。

【検討会のテーマ】

Let's 共同研究！ ～ エリアコーディネーターが取り組んでみた研究事例 ～

検討会の参加者は、17 人（北関東 6 人、北関東以外 11 人）で、全体での自己紹介を行ったところ、共同研究への関心の高さがうかがえました。

荻原弘幸氏の「共同研究による事例紹介」では研究の内容だけでなく、共同研究を持ち掛け、実施に至った経緯や各行程・スケジュール・役割分担における具体的な方法・手順についての詳細が提供されました。続いて、小西美樹氏の「共同研究のよもやま話」では、共同研究の裏側として、多施設で行う共同研究の困難や工夫、共同研究が成功した秘訣などが紹介されました。

参加者による質疑応答では、「共同研究者を依頼した際の動機」「多施設で共同研究を行う場合の倫理審査について」「医療施設への研究倫理審査を受ける場合の工夫」などが挙がり、発表者にとどまらず参加者の双方向の経験を活かした話し合いが行われました。また、波及した話として「共同研究の困難事例と改善策」「医療施設との共同研究を実施する場合の現状」「分析方法」にかかわるディスカッションが行われ、事例をきっかけにして各々の研究活動の深化につながった様子が垣間見えました。終了時間を迎えても議論の熱は冷めず、時間を延長して実施したほどでした。

次年度も引き続き、1 年に 2 回の北関東エリア検討会を計画していきたいと思っています。これからも、エリアコーディネーターとして、若手の皆様の関心の高い内容で交流の機会をご提供できるように尽力させていただきます。

第 4 回北関東エリア検討会のご案内

Let's 共同研究！
～ エリアコーディネーターが取り組んでみた研究事例 ～

日本看護科学学会（JANS）若手の会主催

目的：①共同研究の事例を通して、研究者の活動推進の一例を知る
②ディスカッションを通して、今後の研究活動に活かす

14:00-14:30 オリエンテーション&自己紹介
14:30-14:45 共同研究の事例紹介
14:45-14:50 休憩
14:50-15:10 共同研究よもやま話
15:10-15:45 ディスカッション
15:45-16:00 フリータイム



参加者アンケートからのコメント（一部を改訂して抜粋）

- ・ 共同研究の仕方について、具体的なアドバイスが聞けて勉強になりました。
- ・ 共同研究について、こうしたざっくばらんな意見交換の機会がなかったので、とてもよかった。
- ・ 領域の枠を超えて、研究について話すことができる機会をいただけ、本当に勉強になりました。

北関東エリアコーディネーター

竹山美穂・荻原弘幸・小西美樹・金澤悠喜・永井智子・松本光寛